



ネットヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

尾鷲高等学校
システム工学部
編

次世代のものづくりを担う技術者として、技を磨く

尾鷲高等学校

システム工学部

二次元コードを
読み取ると
システム工学部の
コメントが見られ
ます。



尾鷲高校システム工学科の3年生の生徒が、省エネカー班、ロボット班、工作班、パソコン班に分かれて毎週金曜日に部活動を行っています。省エネカーの競技は毎年夏に、ロボット競技は1月の大会にエントリーし、全国大会を目指して腕を磨いています。

Q1 部活の魅力は？

A1 (明石さん) 製造する楽しさです。やったことのない技術に挑戦したり、出来上がったモノは既製品にはない魅力があります。現在はテンセグリティ構造の椅子やテーブルをつくっています。



部長 明石 琉葵さん
(あかし るきあ)

Q2 部長として心がけていることは？

A2 (明石さん) 高温になることでの作業やガスなど、危険物の取り扱いには気をつけています。



Q3 チームの強みは？

A3 (明石さん) とにかく元気で、協力的なメンバーです。作業を手伝いながら、みんなが実践を積んでいます。



(永阪先生) 率先して自主的によく動く部員たちです。

Q4 次の大会はどういうものがあり、目標は？

A4 (永阪先生) エコテックノ競技会主催の大会が、今年は天候により中止でしたが、毎年、鈴鹿ツインサーキットで開催されています。県内の工業学科の生徒による、省エネカーのレースで、1リットルの燃料で何キロ走れるかを競います。



Q5 今の課題はなんですか？

A5 (明石さん) 溶接の技術が難しく、先生のように上手になりました。



顧問 永阪 志郎先生

Q6 部活を通じて学んでほしいことはなんですか？

A6 (永阪先生) 技術や技能を習得し、ものづくりの面白さを実感してもらいたいです。仲間と協力して、創造力を発揮して工夫を凝らし、卒業生には製造関連の大手企業へ就職したり、大学に進学する生徒もいます。



(片岡先生) 本番で実力を発揮するためには、場数を踏んでメンタルを鍛えること。またメカニズムを把握できれば強くなります。知識も大事。生徒の技量に合わせ、大会でいい成績を残せるよう、必要な環境を整えています。



顧問 片岡 豊司先生

(片岡先生) 上手下手はありませんが、先週より今週はよくなるよう、上達の道は練習あるのみ。車の運転と同じです。よりよいものづくりには探究心が必要です。それはいつか社会で役に立ちます。



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!